

施策：	01	計画行政と効率経営の推進	財務コード	--
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	企画政策部
基本事業の 成果指標			担当課	企画政策課
			担当係	企画政策担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成28年度 ~ 令和02年度		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
都市再生整備計画により実施した事業			社会資本整備総合交付金交付要綱の規定に基づき、交付金を充当した事業の効果を検証するため、次のような取組みを行うもの。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			都市再生整備計画に定める目標の達成度を測るにあたり、成果指標値を取得するための市民アンケート調査を実施する。 成果指標値を分析した上で、都市再生整備計画の評価資料を作成する。事後評価委員会を開催し、都市再生整備計画の事後評価の妥当性を検証するとともに、今後のまちづくりにするための方策について助言を受ける。事後評価結果を国に提出する。						
都市再生整備計画により実施した事業の効果等を評価・分析し、課題や更に必要とされる施策を明らかにすることによって、今後のまちづくりに必要となる施策の検討に役立てる。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
目標を達成した成果指標の割合		%		100					
5. コスト									
事業費		計	千円	0	1,421				
		国	千円	0	510				
		県	千円	0	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
		一般	千円	0	911				
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0				
正職員人件費		千円	3,226	3,212	0				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,226	4,633	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		二日市地区の都市再生整備計画（H29～R2）は、成果指標として「東町の人口」及び「市が行う防災・減災対策に関する満足度」の2指標を設定していたが、いずれも目標を達成している。 令和2年度に開催した事後評価委員会においても、計画通り適切に実施されている旨の意見がなされている。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	社会資本整備総合交付金交付要綱により、評価実施が義務付けられている事業である。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
都市再生整備計画（二日市地区）については、令和2年度までの計画であったことから、昨年度、事後評価委員会により評価を行ったところであるが、今後はフォローアップ報告書を作成する必要がある。 また、令和3年度以降の計画についても、各課が要求する新規・実計事業等と併せて、必要に応じて別途検討する。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
平成24年度に都市再生整備計画を策定し、事業を開始した。本事業については、社会資本整備総合交付金交付要綱の規定により、事業完了後の事後評価が求められていることから、実施するもの。									